

永井構成員配付資料



標準循環器診療データベースのための 基盤システム



電子カルテデータ
病院診療情報データ
画像検査データ

電子カルテデータ
病院診療情報データ
画像検査データ

標準化ソフト

標準化ソフト



電子カルテデータ
病院診療情報データ
画像検査データ

標準化ソフト



統計処理

標準循環器診療データベースのための基盤システム

病院医療情報/電子カルテ

SS-MIX2 (旧式のSSMIXを使用できる
形に改良して実装)
(国立大学、ナショナルセンターに整備)

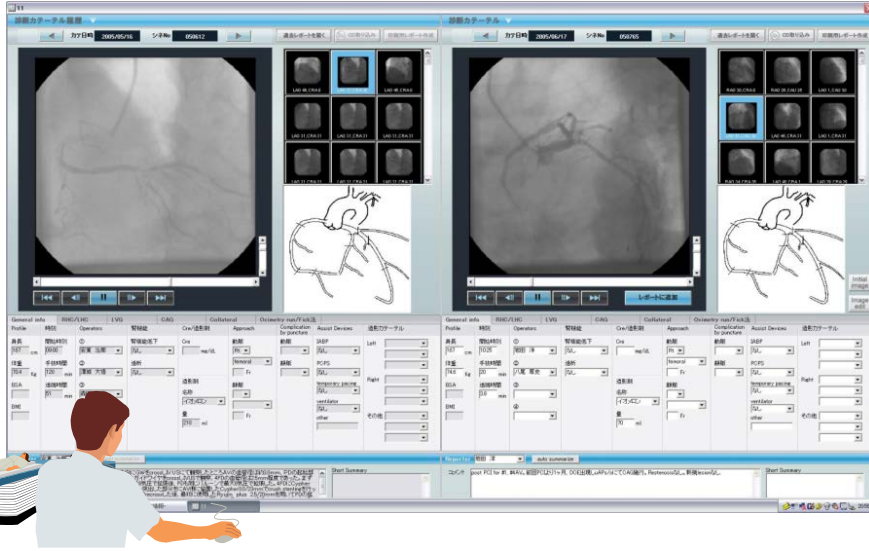
多目的臨床データ登録システム
MCDRS (Multi-purpose Clinical
Data Repository System)
Excelなどへデータ出力可能

市販されている心臓検査レポート
システムに実装

標準心臓カテーテル検査レポート
データベース

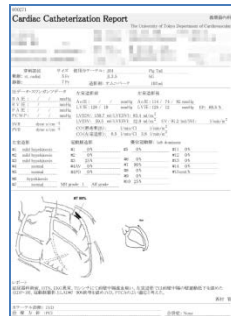
心臓病研究
その他、あらゆる
臨床研究が可能

カテーテルレポートシステム



臨床現場の医師による
カテーテル検査・治療関
連情報の入力 レポート

臨床DB



動画とレポートの連動

過去の任意の時点の動画

本日の動画

動画

レポート

二時点での検査・治療情報の比較が
動画とテキスト情報が連動した形で可能

解剖学的差異への対応

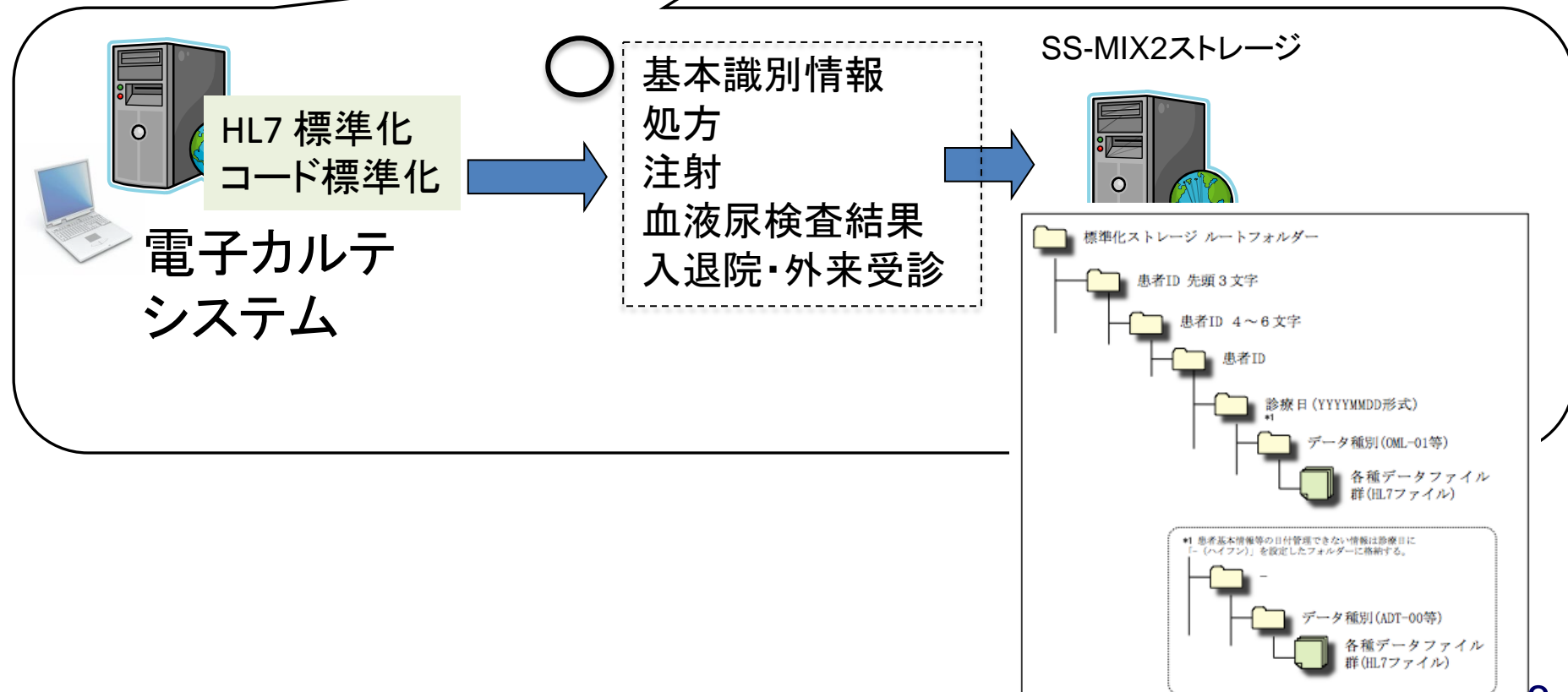
血管の位置や有無を患者毎に設定可能

PCI治療の詳細情報入力

冠動脈に細かい番地を割り振り、どこにどのような治療を行ったのかを詳細に記録できる

用いた治療器具情報

データ統合化のための標準化 SS-MIX2標準ストレージ



多目的臨床データレポジトリシステムMCDRS

症例登録項目の作成(管理者作業)

パスワード
管理者
上

症例入力管理
データ出力
ユーザ管理

入力項目グループ作成・編集画面 症例入力画面に設定する入力項目グループを作成しま

症例入力画面名称 心不全患者データベース

グループ削除

項番	項目名	データ型	入力規則	並び順
1	LDH	数値型		▲ ▼
2	GPT	文字列型		▲ ▼
3	検査結果セット	文字列型		▲ ▼
4	検査項目コードセット	文字列型		▲ ▼
5	g-GTP	文字列型		▲ ▼
6	日付	文字列型		▲ ▼

*入力項目グループ名称 検体検査結果

*項目名称	LDH
画面表示名	LDH
*項目ID	Item011
説明文	
説明の参照 (URL、PDF等)	<input type="text"/> 参照
SS-MIX2連携設定	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
*データ種別選択	検体検査 (OML-11) ▼
*セグメント選択	OBX (検査結果) ▼
*フィールド指定	<input checked="" type="radio"/> 規定フィールド選択
	検査値 ▼
	<input type="radio"/> 任意フィールド選択
	フィールド <input type="text"/>
	繰り返し <input type="text"/>
	要素 <input type="text"/>
	条件1
	フィールド <input type="text" value="3"/>
	繰り返し <input type="text" value="1"/>
	要素 <input type="text" value="1"/>
	値 <input type="text" value="3B050000002327201"/>
セグメント特定条件	

データベース構築の課題

- 1 ICTは、コミュニケーションだけでなく、知識の構築を重視
- 2 電子カルテの標準化。個別化防止
標準化への強制力は必要。国全体で標準化に取り組む。
- 3 維持費
研究費・事業費による維持は不可能。
関連する複数学会も維持費を負担する。
データベースは医療の質管理と考え、高額医療については、医療費で負担する
- 4 保険者機能の強化
- 5 SS-MIX2の価格
約1000万円を低価格化すべき
- 6 疾病分類、診断名の標準化
- 7 死亡診断書
重要なデータと認識すべき。
医療現場のアンメットニーズの宝庫
原死因以外の病名も登録が必要。
また、医療行為とのリンクも図る